

# 1 学期 終業式の話

平成25年10月11日

始業式から半年が経ち、今日が1学期最後の日です。今日は、担任の先生から通信表が配られます。教科の勉強と合わせて、芦口小の三つのめあて ①なかよく助け合う子 ②進んで学ぶ子 ③心も体もたくましい子について、担任の先生は、みんなをよーく見て、通信表に書いてくれました。今回も、全部読ませてもらいました。一人一人たくさん頑張ったんだなあ、とても感心させられました。

最近感動したことが2つあります。一つ目は、陸上記録会の6年生の活躍です。多くの人が入賞したり自己ベストを出しました。出せなかった人も、正々堂々と戦いました。周りが自分より速そう、強そうに見えた人も多いと思います。そんな中、全力で戦いました。

種目ごとに振り返ると、100m 走、80m ハードル。一生懸命走りながら、隣をちらちら見て、隣の人には負けないぞと多くの人が頑張っていました。ゴールしたときの気分はどうでしたか。ハードルでは、1つ、また一つと飛び越していくとき、「半分まで来たぞ」とか「あともう少しだ、頑張れ」と自分を励ます瞬間もきっとあったと思います。残りのハードル2つか3つ目のところでひっかかり、転んだ選手もいました。「どうしよう」きっと、困って、泣きたくなったかもしれません。でも、すぐ起き上がり、最後まで走りナイスファイトでした。

応援団の皆さん、特にリーダーの皆さんは、声がかれるくらい頑張りましたね。選手ではないけれど、きっと心の中で一緒に走ったり跳んだりしながら応援していたのではないですか。1000 m走の選手もすごかった。よその学校のスタートダッシュが速くて、芦口小の選手は、1周目は真ん中ぐらいを走り、2周目からギヤを上げて、一人また一人と抜いていきました。その時の応援席、選手が目の前を通る度、名前を叫んでいました。最後の400m リレーでは、応援席の全員が一体となって、4人の走りを見ていました。抜かされないでー、追いついてー、抜いてー、みんな祈る気持ちでした。普段教室で、けんかしたり、悪口を言っている相手でも、芦小の仲間として応援していました。校長先生は、みんながお互いに応援する姿を見てとっても嬉しくなりました。そして、ハードル選手に代表されるように「みんな最後まであきらめないで頑張れた」そのこともすばらしいと思いました。

感動したもう一つのことは、「あげめだす」を合い言葉に、9月に全校で取り組んだ「挨拶運動」です。どのクラスも全校で一番を目指し頑張りましたね。その運動の間、学校じゅうに、気持ちのよい挨拶が響き渡りました。特に、1位になったなかよしさん、2位の2年1組さん、3位のクラスもとてもすばらしかったですよ。今でも、頑張っているクラスがあります。これからも、一年中挨拶運動だと思って頑張りましょう。挨拶は、人を元気にします。勇気を与えます。未来を明るくしてくれます。

さて、明日から秋休み。ふれあい朝ごはん週間が始まります。

朝ごはん作り、どの位できますか。食器並べ、テーブル拭き、後片付け、食器洗い。お米をとぎ、炊飯器のスイッチやタイマーをセットして、ご飯炊きができるお友達も多いと思います。卵や肉、ウィンナー、ハムなどが焼けたら80点。後は、味噌汁を作れてパーフェクト。味噌汁を作れる人どれくらいいますか。(挙手)今できることから始め、だんだん増やしてほしいと思います。お家の人と頑張ってくださいね。お話を終わります。